

2023
号外
氏家秀太
政策が満載



発行日 2023 年 7 月 7 日 令和の改新党
発行責任者：三村洋 海老名市国分南 4-7-23
TEL:080-5092-2932

The China Times

| POLITICS / ECONOMY / CULTURE / SCIENCE |

氏家秀太氏市長選挙出馬へ

新しい海老名をつくる会

氏家しゅうた

うじけ

松沢しげふみ

参議院議員 前神奈川県知事



対談

いよいよ市長選へ

松「いよいよ。氏家さん11月が間近に迫ってきて、準備は進んでいますか？」

氏「はい、今回はしっかりと市民の皆様と新しい海老名に向けて準備を進めています。また松沢先生をはじめ、各専門家の方々など、本当に海老名を変える為にお力をいただいております。特に松沢先生には、前神奈川県知事で、今も神奈川県からの参議院議員、よく海老名市の事も知って頂いて、沢山のアドバイスを頂いてきました。」

市長の多選は許されるのか？

松「どんな海老名にしていきたいかと。」

氏「まず、第一に『市長の多選NO！市民が主役YES!!』です。」

松「とてもわかりやすいスローガンですね。海老名の皆さんも相当ね。今の市長長すぎると、いつまでやってんだというイメージ持っていると、思いますよね。」

氏「今の海老名市は、どうも皆、市政のTOPに目が向いている。本来であれば、市政が市民に目が向いていないといけないと思います。特に市長となれば、自分が自分でなくて、海老名市全体と市民に向いていない。」

松「海老名の街自体がそれなりに発展してきたので、そんなに行政に文句は言っていないわけですよ。でも考えてみると今5期、もう20年やってるわけですね。次やったら24年、これはさすがに長い。」

氏「20年これ普通に考えたら一般の企業でもありえない。例えば小さな会社等別にして、普通は社長って2年4年で変わっていくわけですよ。それが、14万人の市で、20年やってそれで次もとありえないこと。組織は変化しないと成長できない。人事は停滞するし、新しいアイデアも生まれない。独裁になるから、偏った人

にしかチャンスが与えられない。組織が市長のイエスマンの集団になってしまっ。」

松「一人の方がやるっていうのは、さすがにマイナス面が多いんじゃないかな。やっぱり3期4期くらいまで。現職って市長をやりながら選挙運動もできちゃうから強いんですよ。ただ必ず4期5期から多選の弊害っていうのは出てきます。私も都道府県だけじゃなくて、市長さんや省庁さんとお付き合いですけども、多選になった人のおごりっていうのは酷いですよ。もう自分が優秀だから選ばれてるんだと俺に任せておけば、この街はうまくやっていけるんだからと。全部自分中心ですからね。」

氏「松沢先生も、神奈川県知事として全国初の『多選禁止条例』を制定し、自らも2期8年で知事の座を退かれました。多選の問題点については本当に詳しい。」

松「私はそうならないように、やっぱりこれは民主主義のルールにしよう。3期12年やれば十分。3期やって、何もできなかったら4期やったら、5期やったらできませんよ。」

氏「本当にそうですね。今回も市長はやり残したことがあるって言うてましたからね。20年やって、まだやり残したことがあるなんて、今まで課題を解決できていない証拠です。過去の課題解決にもう時間は割けません。この変革期、大変な時期には、様々な新しい課題、3年後5年後の課題解決にすぐに取り組みまないとダメ。新たな災害とか市内格差問題、少子高齢化の次のフェーズなど経験のない様々な

問題解決に時間を割くべきです。現市政には、とても海老名の未来は任せられない。ですからやっぱり本当に人事も停滞しますし、新しいアイデアも生まれません、新しいチャンスが生まれません。」

松「まず、政治が独善化するでしょ、自分が大将で何でもできると思ってるんで。それから人事の変更ですよ。市役所の周りの副市長とか部



長とか局長とか自分のイエスマンばかり置いて、自分に何かきつと意見を言ったり、文句を言ってくれやっぱ、あいつうるせえからどっか飛ばせって、人事権持ってるわけだから。そうすると行政がマンネリ化するでしょ。一番悪いのは議会との癒着ですよ。議員さんも市長と仲良いと、この市長が続くだろうと。だから仲良くしてうまく予算つけてもらおうとかね、みんなすり寄ってきて、もう議会は御用団体になっちゃう。議会っていうのはもう

是々非々じゃなきゃ。いい政策はよし、市長頑張れと。ダメなときは市長が違っぞってね。きちっとストッパかけられるような議員がいなくちゃいけないのに、今の海老名市はそんな市議会でもないのですね。だから氏家さんも市議会もね。本当の改革派の議員も一緒になってキャンペーンをやって、市政と議会と一緒にこの海老名を変える。そうやっていかなきゃ。」

氏「改革はもう待った無しですね。本当に今回の選挙は、海老名の未来がかかった選挙だと思います。」

様々な課題が噴出している海老名市 もう改革は待ったなし！

松「氏家さんのように民間で、いろいろ経営コンサルティングからやって、各企業の再生なんかも随分やってきたでしょ。そういうノウハウを持った新しい民間感覚のある市長さんを作って、海老名を変えていかなきゃ、海老名の発展だって永遠じゃないんだから。少子化は進む。高齢化は進む。財政は厳しい中で、氏家さんなら解決の為に、もっともっと皆さんからいただいた税金を有効に使ってくれるでしょう。新しい街づくりのすばらしい政策もたくさん作ってますよね。」

氏「本当にまず今先生がおっしゃっていただいたとおり、やはりこれから実務家が必要だと思うんですよね。行政や政治しか知らない市政のTOPは、今の激変期には対応できないと思います。税を回収して分配するだけでは、癒着が生まれ、高度な問題解決はできない。特にコロナでももう本当に改革待ったなしという状況に陥っているわけですから、今までの過去の現市政の運営速度でもダメ。やっぱり今までと同じようなやり方ではやはりダメです。それこそ産業革命、エネルギー革命、それこそ3・11以来プラスコ

口ナで、この時代には、やっぱり基礎自治体が最後の砦だと思うんですよね。」

Ⓔ「IT革命、デジタル革命が来ていますから、氏家さんが一番得意とするところですね。」

Ⓕ「それにプラス本場にGX（グリーン・トランスフォーメーション）も含まれているわけです。ハードウェア開発中心の偏った今の市長の考え方では、もう対応できない。もちろんソフトウェアの開発そして何よりヒューマンウェア（市民が活躍する）が大事。網目のように目が届く為に、自治体権限強化、地域コミュニティの充実、ご年配の方々にも活躍してもらうなど。それには、やっぱり市民が主役の市政づくりをしなければいけない。まず一つはやはり市民全員がしっかりと取りこぼしがないベシックサービスが受けられること、今本場にあらゆる場面で格差があったりするので、絶対に解決しないといけない。それこそ災害の問題も、網の目のようにしっかりと海老名市全体に目が届き、地域ごとの細かな災害対策が必要です。しかも、毎年のように新たな災害が起る。毎年のようにハザードマップは変わるし、水の災害も、そして今年は、風も強くなってきました。」

Ⓖ「今線状降水帯もものすごいよね。それで結構神奈川県で知らない人もいますんですけど、富士山噴火が近いって言われているんですよ。そうだったら火山灰は神奈川県と東京に降ってくるもんね。そうしたら交通は麻痺するし、電車は止まるし、下水道もダメになる。だからこの辺りももうちょっと神奈川県知事さん

もね。少し市町村にも一緒になってよく地震だとか津波だとか、あるいは火災。この防災対策ってやるんですけど、火山噴火って全く手がついてないこういうところもあるんですよ。」

Ⓖ「確かにこれからは、何が起るか本場に解らない。だからこそ、あらゆること、些細なことにも気を使い、想像力も予見力も備えていかないとけない。その為に地域コミュニティ災害ネットワークづくり、自治会ごとの対応力強化、海老名

レスキュー隊創設、災害後のケア対策などもしっかりとつていきます。」

氏家秀太の目玉政策とは？

Ⓖ「その先のを氏家さんちよとお聞きしたいのですが、タブレットを市民に配ってICT化を進めて、特に高齢者の皆さんが市政にすぐにアクセスできるような、そんな仕組み、僕も聞いた時には大変なことだなと思ったんですけど、簡単に言うると大変な仕組みなのですか？」

Ⓖ「はい、私の目玉政策の一つ、『まごころお守りシステム』です。まず海老名市の中で行政のベシックサービスから経済活動、地域コミュニティ活動、社会活動が完結すること。これをオールスマイルシティ構想と呼んでいます。その中で大切な施策の一つで、構想を支えるものなので。各家庭にタブレットをお配りして、市内のあらゆるところと繋がるようになります。赤外線での健康安全管理や、ボタン一つで、買いもの支援や修理依頼など、市内の各サービスや業者さんに発注できるんです。また、まごころポイントが仮ですが毎月3000ポイント配られ、ありがとうをポイントにします。そして、市内でまごころと感謝とポイントが何回転もする。分配する財源を一回りも二回りも大きくするので。」

Ⓖ「コミュニティの経済とか福祉を、そのタブレットとポイントを利用することによって活性化しちゃう。なるほど面白いですね。これね。ぜひとも、市長になって成功させましょう。やっぱり氏家さんがすごいところは普通選挙を通じてから何をやるか考える人が多いわけ。市長さんでも氏家さんは前回も出て、まして民間でもずっと様々なマネジメントの勉強をしてきているから、政策が出来上がって市長になったらすぐに実現できる。ここが氏家さんの強いところだね。本場にもう待ったなしですからね。だから、そのためにこれだけの政策を準備してきたんですよ。」

Ⓖ「海老名市の改革は、本場にもう待った

無しですからね。だから、その為に沢山の「住み続けたい」なる「為の政策を準備してきたのです。しっかりと市民の皆様といろんな所で話し合いをしてきました。おかげさまで、今は本場にまだ市長でもないですが、皆さんからも毎日のようにお電話やメール、お手紙をいただきます。本場に困ったこと、今の市政では目が届かないことを僕も掴む思いなのでしよう。それと、「市民が主役」政策の目玉が『市民議会』創設です。」

Ⓖ「市民議会というのを作って市議会にもつなげて行政につなげていくと、ある程度公的な権限も持つてもらおうというんです。今までのタウンミーティングなんかとは違うわけですよ。これは本場に日本では初めてだよ。」

Ⓖ「はい、これは市民議会ですので、ちゃんと権限を持たせていく。このシステムも日本で初めてチャレンジすることです。もちろんそのためには市民憲章として市民のこれに関わる条例も制定していきます。基幹として30の市民委員会も創設します。当初は確かに諮問機関でも、これがある意味、市の議会ときちんとお互いが影響し合えるような。そして、市民から議案が提出できるようにしていきたいと思います。やはりあくまでも私は市民がこれからやっていかなければ、災害にしても、高齢者、子育て支援にしても、市全体開発もこれ、ヒューマンウェアが大事。もう本場に人が主役になっていかないと、市民が主役になっていかないとけないのです。これからの本場に先行きがもう見えな時代の中には、もうこれでないといけない。このシステムを作るのはそれこそやはりプロの実務家です。これを実際に全国で事業システムを作ってきた私が、ふるさと海老名でやるべきじゃないかと思

います。ですから、11月から市民の声を届けるのではなくて、11月までの市民の皆様と作り上げた政策を、本場にすぐ実

践をしていかなければならない。この失われた20年海老名は取り返しがつかない。だから、これ以上このまま現市長が4年続けたら本場にダメだと思

Ⓖ「まあでもこれを読んでいただいている海老名の皆さんね。氏家さんは、これだけのアイデアを持って、すぐ実行できる即戦力ですからね。もう古い20年もやってきた市長まだ4年やりたいと、もう自分の力を守るだけになっちゃってる。だからこは、どうにか今回の市長選挙をみんな考えて、みんなで新しい市長を作るために一票投じていただい

てね。変えなきゃいけないと思います。とにかく多選はダメです。だってプーチンや習近平見ればわかるじゃない。もう長いこと、権力にしがみつくと、みんな独裁政治が始まるわけですよ。海老名もそうなっちゃってますから。やっぱり市民の皆さんが本場に市政に参加して新しい街づくりをみんなやっていくっていうのは、もう氏家市長を誕生させるしか方法はないと思



(左)松沢しげふみ参議院議員 (右)氏家しゅうた

市民が主役の海老名市をつくらう！

Ⓖ「これからあと3ヶ月、どんな活動をし

て選挙に臨みたいですか。」

Ⓖ「1人でも多くですね。本場に1人1人とですね。1人でも多くの市民の方とお会いしたい。直接困っていることを聞きたい。実は今歩いてですね。この海老名タイムス、新聞などを配らせていただいています。車じゃないです。全世帯を実は今歩いて皆さんに声をかけながらです。今の市政には届かない小さな困ったことが、海老名市中に溢れかえっています。それをこれから見つけていきたい。この3ヶ月間1つでも多くですね。1人でも多くの人に對話をして、本場に困ったことを、私も全身全霊で受け止めて、市民の皆様へ寄り添っていき

Ⓖ「もう全部備えて、もうこの11月からスタートを切れると、そういうつもりでこのパワーを見てください。皆さん街で氏家さんに会ったら必ず声をかけてください。」

Ⓖ「ありがとうございます。こんなに海老名市の事を心配していただいている松沢先生、心強いばかりです。先生もこれらの日本を神奈川県をよろしくお願

Ⓖ「日本維新の会もようやく国政で60名になって今第3局と言われている。もう第2局を狙えるような位置に來ましたので、これからは地方なんです。地方の首長さん、地方の議員さんをやっぱり日本維新の会から出して、改革政党を作っていくか。今までの自民党的な利権政治はダメです。あるいは何でも反対の抵抗だけしかないのもダメ。本場に新しいアイデアで改革をしていく。ベンチャー政党を作っていくか。きやいけない、日本のね。経済だつて、大企業だけじゃ発展しないんですよ。中小企業ベンチャー企業があるから経済って活性化するんですよ。そんな形で日本維新の会も地方でもこれから頑張っていきます。日本維新の会は氏家市長候補と一緒に、海老名の街づくりを進めていきたいと思

市長の多選NO! 市民が主役YES!



安心と改新の実現へ
即戦力!!

新しい海老名へ未来へ紡ぐ 4 大政策

未来へ紡ぐ政策

1

「市民が主役の市政を実現」日本初「市民議会」の制定!!

多選絶対反対

市長は 2 選までの多選禁止条例の制定
弊害の徹底排除・疑義の追求

クリーンな市政の実現

市政の透明化
情報開示条例の整備
逆切り取りの排除
市民目線の行政部門も設置

市民議会の制定

市政は市民の意思で決定
市民憲章の制定

市民ネットワークとコミュニティの強化

ボランティアの有償化
市民活動の補助強化
自治会の権限強化

偏った開発の見直し

網の目の開発の実行

海老名市 5 ヶ年未来計画の制定

(現各計画の見直し)
文化関連条例の制定
国分寺跡地マンション問題の引き続きの解決

未来へ紡ぐ政策

2

「オールスマイルシティ」の実現へ

両翼イノベーションを。

0-4歳と65歳以上の市民へのベーシックサービスを徹底的に向上!

0-4歳と65歳以上人口を増やします!

子育て対策

・医療費 高校まで無料 (適正に実施へ)
・保育料 無料 ・給食 中学まで無料
・パークマネジメント「むすびば」
開園 ・おむつ無料 ・療育・特別な
ニーズのあるお子様への支援向上 ・氏
家の子育て支援 日本一150の施策実施

高齢者対策

・お守りシステム (日本初) 導入 各
家庭に無償 健康管理・まごころサー
ビスシステムの導入 移動・利便性の向
上 アクティブシルバーの方の活躍の
場の提供 医療補助制度の導入
「海老名市子どもの権利に関する条例」
の制定

中小企業・農業対策

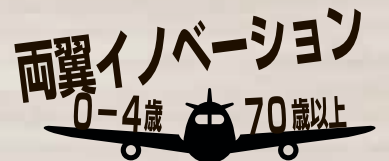
海老名ファンディング事業
スマート農業化
地元需要減少零細企業の
市内物流活用事業の実施

まごころポイント事業

新しい感謝の印と海老名コイン
交付金を2倍に活用

女性活躍支援

仕事復帰支援
女性起業家支援



未来へ紡ぐ政策

3

「住み続けたい海老名市の実現へ」

ベーシックサービスの拡充

セキュリティ モビリティ エネルギー の革新的課題の解決

DX (デジタルフォーメーション) GX (グリーントランスフォーメーション)、
市職員のリスクリングの推進 デジタル推進条例の制定

未来へ紡ぐ政策

4

「市内あらゆる格差の是正」

ひとり親支援の拡充 中小企業支援強化、生産性向上施策

第1次産業の経営革新支援

貧困救済 障害のある方への支援強化と住みやすい街へスイッチ
各手当の拡充大学・高校 教育費の100万円まで肩代わりなど。



氏家の約束する政策 (海老名編)

主な施策! 17選!

1、貧困格差是正と市民皆幸福制度の実現

若者の活躍・子育て支援と高齢者の安心を!

2、アフターコロナ ニューノーマル緊急対応事業

セキュリティ モビリティ エネルギー対策強化

3、まやかし政治、しがらみ市政をぶっ飛ばす!

4、安全と安心の自己「まごころお守りシステム」の確立

5、新たな、あらゆる災害に対応

6、中小企業の徹底支援 停滞から成長へ

7、高校までの教育費の無償化

+奨学金肩代わり制度の実現

8、子育て政策 充実度神奈川 No.1

9、物価高対策の実施

公共施設駐車場有料化反対、下水道料金値上げ撤廃と

国保税支補助打ち切り反対

10、公共施設・公共サービスのゼロベースの見直し!

公共施設、駐車場、利用方法・利用料金の見直し

11、地元中小企業、第1次2次産業の

ブランディング&スーパーセール

12、中学校まで給食無料+健康給食の実施

13、教育の後退化に待った!

14、少子高齢化のスーパー支援制度の創設

15、海老名特別開発12区域の制定と事業支援

土地など海老名の価値を高めよう

16、3大投資の実行 未来の海老名に投資する

●私達の子供、若者へ「教育への投資」

●地元経済へ「地元企業への投資」

●高齢者の方へ「第2のアクティブな人生への投資」

17、スマート農業推進 農業推進エリア開発の実施



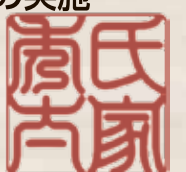
ペッパー君の生みの親、林氏と
AIロボットについて討論!



農家のPRに奮闘



全国の飲食店経営者と、
東日本大震災の農作物
風評被害の救済に。



氏家秀太

うじけ

しゅうた

地域活性化プロデューサー
ビジネスコンサルタント
行動心理学者
キャスター
著述家

Shuta Ujike



プロフィール

海老名市に3歳の時に移住。現在海老名市在住。(株)中央経営研究所代表取締役社長。1967年生。

地域活性化プロデューサー、行動心理学者、経営コンサルタント、ラジオパーソナリティとして活躍する。大手企業をクライアントとするコンサルタント会社、中央経営研究所で社長、山口県の公共工事を手掛ける(株)九内でCOOを務める。現在は「生産性向上」「地域OSづくり」「地域活性化活動」を爆進中！



「志の始まり」

大谷小学校(5年生徒会長 杉久保小学校(6年生徒会長 大谷中学校(3年生生徒会長 私立鎌倉学園高等学校(3年生生徒会長)として、「みんなの為に！生き生き青春」をモットーにフレッシュに活動。既に政治への第一歩はこの頃からか？(笑)

2011年東日本震災の際は、延べスタッフ200名を連れ、農作物の風評被害と闘う。私財を投げうち、全国の飲食店経営者をいわき市に集めて農家の方々とマッチング事業を展開する。地元農家の方々、青年団と共に青年団先頭に立つ、その模様は各TV報道番組で放送され話題となった。

「チャレンジ精神」

大学在学中には、若千21歳にして、甲子園でのコンサートプロデュースを音楽業界最年少で開催する。その年のNO.1化粧品「リップスバ」や有名タレントのプロデュースを手掛けるなど、さまざまな店舗・商品のプロモーションに携わる。

その後、話題や人気の事業のプロデュースサービス業等のコンサルティンクを中心に、手掛けた案件は3000件以上。また、500を超える赤字事業を黒字に立て直す。特に難しいとされている若年層、女性のマーケティングに定評があり、つくる商品は必ずヒットするという伝説もある。各地域でWebグルメサイトNo.1検索数を誇るチェーン店など数多くの人気店を一気に全国展開するなど、何もかもが規格外のサービス業界の革命児である。そして、日本を代表する著名人とNPO法人フードビジネススネージャー協会を設立し、業界の人材育成に尽力する。



また、メディア界でもその能力を発揮し、手がけるTV、ラジオ番組は人気

を博した。また、メジャーWEBサイトでも人気の連載を持つなど、情報発信力には抜群の実績を残している。コンサルタントとしてのスタンスは、生産性を高めることに執念を燃やし、M

&A CRM、業務改善、戦略人事、DX、企業戦略イノベーションなどVUCA時代に対応する経営手法を開発導入している。
1000人を超える成功者と人生を共にして生み出した成功哲学や手法はマスコミでも話題に！感動人間を育て上げる教育手法で育った人財は今でも一線で活躍している。連載、MOOK、単行本など著書多数。大学講義、講演やセミナーは年間100回以上にも及ぶ。10万人が受講したD2P訓練講師を務める。中小企業診断士・行政書士・1級販売士・宅地建物主任者・調理師...他多数



「50歳で人生の 変革期」

伊能忠敬のように、50歳を超えたら世の中の為に働く！その決心から、それまでのビジネスの「線から退き、低欲望社会に打ち勝ち」活動に専念する。すなわち、教育問題・移民問題・少子高齢化各問題解決にとり組んできた。大手企業の研修、大学での講義、研究、働き方改革の浸透など、各ステージでの教育や現場での移民問題(外国人の労働者受け入れ)の対応、そしてアクティビルバー世代の人生第2次ステージの活動支援を行う。また、日本全国の地域事業創生を積極的に取り組む。そしていよいよ地方行政に挑戦へ。

HP

<https://www.ujike.info/>

Twitter

<http://twitter.com/ujikeshuta>

「出馬表明!氏家秀太が市民の皆様へ直接『新しい海老名の形』を発表します。」

出演



氏家秀太
うじけしゅうた



松沢しげふみ参議院議員
(前神奈川県知事)

1人でも多くの皆様とお会いしたいと思います。お待ちしております。

参加 無料

当日参加可能

11:20 開場
11:40 開演
氏家秀太の活動報告と懇談会
15:00 終了

主催 氏家秀太事務所(氏家秀太後援会)
海老名市中央 2-10-23 中華料理 五十番 2 階

氏家秀太と「新しい海老名をつくる会」懇談会第7回

7月23日(日)
11:20~15:00
海老名市文化会館小ホール
海老名市めぐみ町6番1号

事前申込みはこちらから
■氏家秀太 Hotline 090-6635-8888
■FAX 0467-77-1802
■メール shuta.ujike@gmail.com ■QRコード

